

## 1. 集計結果

### ○回答数

- ・保護者による評価 15人（15人中）
- ・職員による評価 11人（11人中）

### ○実施期間

- ・2024年1月5日～15日

### ○評価の数値状況

- \*別紙を参照

## 2. 分析・討議

### ○保護者による評価

- ・全体的に「はい」が多数になっている。
- ・「虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」の項目に、「ありのままの子どもを受け止め、困った行動があっても、その裏にある思いや願いを探りながら、向き合ってくれる」という意見もある。子どもの思いが尊重され、自分を安心して出せる活動であるように引き続き努めたい。
- ・「子どもの育ちの状況を確認、保護者との面談もしながら、個別支援計画書が半年に1回は見直し、作成されているか」の項目に、「子どもをよく見て、保護者との面談も踏まえ、目標に向けての手立てを1つひとつ具体的に示している」という意見もある。保護者の考えや思いをよく聞き取り、子どもへの願いを引き続き深く汲み取っていききたい。
- ・「子どもに応じた活動が作り出されるとともに、屋内や屋外の活動、長期休業中の活動などが工夫されているか」の項目に、「夏は、保冷材を用意し、バンダナを首に巻き、散歩した」「プールや、大きな公園のアスレチックを楽しんだ」という意見もある。子どもが伸び伸びと育っていけるように、さまざまな配慮もしながら、屋外活動も含めた活動に引き続き取り組んでいきたい。
- ・「子どもは活動を楽しみにしているか」の項目に、「毎回、楽しみにしている」「子どもの気持ちが大切にされ、過ごせる」「おやつ、フォークダンスを楽しんでいる」という意見もある。自分の思いを言葉で直接的に表現できない子どもたちも含め、子どもの内面に即した活動をつくり出していく努力を引き続きしたい。
- ・「活動に満足しているか」の項目に、「とても満足している」「限られた言葉のニュアンスや表情、手を引くなどのサインをとらえ、子どもに応じている」という意見もある。子どもの行動の表面に表われにくい思いを読み取り、気持ちのやりとりを豊かにする活動を引き続き大事にしていきたい。
- ・「保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取られているか」の項目に、「互いに情報交換している。保護者の願いを話したり、困りごとを相談したりしている」という意見もある。保護者の思いを十分に汲み取れるよう、保

護者との面談を行なうことはもちろん、保護者との対話の機会を引き続き持てるようにしたい。

- ・「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会がつくられているか」の項目に、「写真を見ながら、活動の様子を報告してくれる」「迎えのとき、担当の指導員から、その日の出来事や体調を聞ける」という意見もある。子どもの活動での様子を、様々な機会をつうじ、引き続き伝えていけるようにしたい。
- ・「会報などが定期的に作られて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりされているか」の項目に、「活動の様子、指導員の紹介、父母会活動の感想、職員の講座参加の感想などが掲載され、互いを知ることができる」という意見もある。さまざまな活動の状況が保護者にわかりやすく伝わるように引き続き工夫したい。
- ・「保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくろうとされているか」の項目に、「4年ぶりのバザー、2回に及ぶ学習会の準備や片づけ、子どもの保育など、保護者のつながりをサポートしてくれる」という意見もある。父母会の活動に協力していけるように引き続き努めたい。

#### ○職員による自己評価

- ・全体的に「はい」が多数になっている。
- ・「利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか」の項目に、「伸び伸び活動できるスペースがある」という意見もある。十分な活動スペースが引き続き確保できるようにしたい。
- ・「指導員の配置人数は適切であるか」の項目に、「屋外に出かけることもできるような人数の指導員がいる」という意見もある。運営状況は厳しいものの、必要な人数の指導員を確保するように引き続き努めたい。
- ・「子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか」の項目に、「玄関の施錠を忘れないようにしている」という意見もある。事故防止のために必要な手立てを引き続き取りたい。
- ・「防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行なっているか」の項目に、「自衛消防訓練を年2回している」という意見もある。火災・震災などに備え、必要とされる訓練や周知を引き続き徹底したい。
- ・「感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防するための研修を行なっているか」の項目に、「換気や消毒、手洗い、マスク着用を心がけている」という意見もある。新型コロナウイルスなどの感染防止のため、必要な研修や対策を引き続き実施していきたい。
- ・「子どもの活動の記録を書いているか」の項目に、「記録を毎日書くことを大切にしている」という意見もある。子どもの小さな変化にも、大きな人間的な価値を見出せるように、記録を取ることを引き続き大事にしたい。
- ・「子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか」の項目に、「子どもが叩いてくるなどしたとき、どんな思いでそうするのかを考えようとしている」という意見もある。子どもの否定的にも見える行動の内側に、その子の人間としての肯定的な願いを汲み取れるように、子ども理解を深めることを引き続き大切にしたい。

- ・「学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか」の項目に、「学校行事などがある時期は、子どもが疲れていることがあるので、様子を見るようにしている」という意見もある。その日の学校生活の状況にも思いをめぐらせながら子どもに関わることを引き続き大事にしたい。
- ・「子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか」の項目は、「はい」が7、「わからない」が0、「いいえ」が4ある。「コロナが収束してきたので、機会を見つけて参加しようと思う」という意見もある。外部の学習会などにも参加できるように引き続き呼びかけていきたい。
- ・「保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか」の項目に、「少しでも保護者の役に立てるような会話をしたいと思う」という意見もある。保護者の願いや悩みを汲み取れるように心を砕くとともに、そのための時間を引き続き確保していきたい。

### 3. 改善目標

#### ○保護者による評価

- ・ほとんどが高い評価となっている。
- ・子どもの内面が発する願いや悩みを汲み取り、それに即した活動が展開できるように引き続き努めたい。そうした事実を、さまざまな機会を踏まえ、保護者に引き続き伝えていきたい。

#### ○職員による自己評価

- ・ほとんどが高い評価となっている。
- ・問題行動と言われる行動の内側にも、その子の苦悩が込められていることがある。そうした子ども理解の視点を確かに持てるようにしたい。そのための研修や事例検討を引き続き大切にしていきたい。

### 4. 公表方法

○保護者・職員への文書の配布（2024年1月31日より）

○ホームページへの掲載（2024年1月31日より）